

事務事業名	市制記念式典事業		所属部局	総務部		単位番号	3005																												
			所属課室	総務課		課長名	小池 正之																												
			所属担当	総務選挙担当		担当者名	澤口政彦																												
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																								
		01	行財政改革の推進		01	一般	02	01	12	06	00	2																							
政策		02	行政改革の推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																														
施策																																			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	南アルプス市表彰条例																														
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 平成14年10月17日の旧6町村合併調印の日を記念して、毎年10月17日以降の最初の日曜日に市制施行記念式典を実施。式典には、知事をはじめ、選挙区選出国會議員、市選出県議會議員、近隣市長や市内の役職者、市幹部職員など約500名を招待する。記念式典の中では、特別功労者、功績者として、市制発展に寄与した人を表彰条例に基づき表彰する。また、市民憲章や市の歌の制定などの発表を行ってきた。			事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>14</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>52</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>255</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>31</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>187</td> <td>計</td> <td>539</td> </tr> </tbody> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	報酬	14			報償費	52			需用費	255			役務費	31			使用料及び賃借料	187	計	539
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																																
報酬	14																																		
報償費	52																																		
需用費	255																																		
役務費	31																																		
使用料及び賃借料	187	計	539																																

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績 特別功績者表彰2人及び功労者表彰11人を表彰した。アトラクションは白根高校の吹奏楽部による演奏会を実施した。 23年度活動予定 前年度と同様
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・招待者 ・被表彰者
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	・市制誕生を記念するとともに被表彰者を祝福する。 ・市政に功績のあった人を表彰する。 ・アトラクションとして市内グループ等に発表の場を与える。
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	市民の一体感の醸成

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	開催回数	回				
名称	単位								
開催回数	回								
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>招待者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>被表彰者</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	招待者	人	被表彰者	人		
名称	単位								
招待者	人								
被表彰者	人								
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>招待者の内当日参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>被表彰者の当日出席者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>アトラクション参加者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	招待者の内当日参加者数	人	被表彰者の当日出席者	人	アトラクション参加者数	人
名称	単位								
招待者の内当日参加者数	人								
被表彰者の当日出席者	人								
アトラクション参加者数	人								
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民の一体感を感じた人の割合</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	市民の一体感を感じた人の割合	%				
名称	単位								
市民の一体感を感じた人の割合	%								

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	573	539	816	938	6,000	816	
	事業費計 (A)		千円	573	539	816	938	6,000	816	0
	人件費	正規職員従事人数	人	33	33	33	33	33	33	
		延べ業務時間	時間	167	167	167	167	167	167	
		人件費計 (B)	千円	745	745	662	662	662	662	0
	(A)+(B)		千円	1,318	1,284	1,478	1,600	6,662	1,478	0
活動指標		回		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
対象指標	人		478.0	480.0	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	
	人		17.0	15.0	16.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
成果指標	人		430.0	450.0	450.0	450.0	450.0	450.0	450.0	
	人		17.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
	人		90.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
上位成果指標		%								

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成14年10月17日の旧6町村合併調印の日を記念して、毎年10月17日以降の最初の日曜日に桃源文化会館において市制施行記念式典を行っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	功績者の表彰については変化は無いが、アトラクション等において地元高校生の吹奏楽部の演奏を行うなど、発表の場を設けるとともに経費節減に繋げている。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	式典経費の削減のため、隔年、5年に一度等の開催を検討することになっている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	式典の簡素化や隔年開催等の検討を行った。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	簡素化に努め経費削減を行ってきた。また、隔年開催等での実施でも、被表彰者数は削減することはできない。被表彰者の表彰は毎年開催した方がよい。

事務事業名	市制記念式典事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 市民の意識の向上を図り市政の活性化に繋げる。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 市政の発展等に寄与した功労者表彰であるため、自治体が表彰するべきであり妥当である。	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 従来、市政へ貢献した人を表彰している。今後も市の発展等に寄与した人は表彰することが望ましい。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 限られた予算の中で毎年簡素化に努めている。	
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 公式な場所で表彰することにより、市民の励みに繋げて市政の活性化を図る。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 功労者表彰を行うため、休廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] アトラクション等も出演料を抑えるため、地元の高中生吹奏楽部や市民文化団体等をお願いするなど経費削減に努めている。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 担当者で初準備を行ったり、部内の協力を得ての実施のため、これ以上の削減は不可能。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 全市民が対象の中で、特に功績のあった者を、表彰審査会に図り決定している。	

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について) ・功績者表彰等が中心の式典である。現状維持で開催していくが、10周年記念式典(25年度)には、記念事業として、内容を検討する必要がある。
---	---

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める) ……複数選択可 ☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)	(3) 改革・改善による方向性 <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について ① なし ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① なし ② ③	(5) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					